

① 「H25緑の防潮堤」 ～生育状況について～

昨年植樹した樹木について、横浜国立大学名誉教授 宮脇昭氏による生育状況の確認の結果、以下のコメントをいただいております。

『大部分は新芽も確認され、予測どおりである。しかし、一部で生育の遅れや、部分的に枯れた状態が確認された。

その主な要因としては、昨年の台風18号（9月16日）、台風26号（10月16日）等の高波によるしぶきや、塩分を含んだ飛砂に20～30cmうもれた状態になり、一部で生育の遅れや、部分的に枯れた状態が生じたものと推察される。』



生育率概ね90%以上～70%程度のエリア



生育率概ね70%～50%程度のエリア



生育率概ね50%～30%程度のエリア

